ヤマト絵日記　その39



口和わいわいフェスタ　ドローンサッカー体験会　10月18日(日)

2年に1回開催される第15回口和健康ふくし祭が口和自治振興センターで開催され、場内の一角でドローンサッカー体験会を行いました。





スタッフの(左から)奥原さん、近藤さん、田村区長、金森さん、大和事務局長

小学生や中学生が主に30名が体験をしました。口和中学校の生徒4名に体験会の手伝いをしていただき、無事に運営することができ、また、楽しんでもらいました。ありがとうございました。

大宮武蔵野高校ドローンサッカー体験会　10月26日(月)

埼玉県から西城に民泊されている大宮武蔵野高校10名がドローンサッカーを体験しました。関心を持ってもらいました。



ドローンの操作を楽しむ生徒

公園化事業



旧西城保育所の花壇にコスモスが咲きました。四季の花を植えていきます。

芸備線・木次線を守ろう！



西城自治振興センターのバルコニーに掲出中です。応援しましょう！

第14回西城フォトコンテスト・表彰式　11月7日(土)

最優秀賞は朝日政英さん「夜明けの芸備線」です。12月まで展示します。ぜひ、ご鑑賞下さい。



西城自治振興センターで展示中

子ども写真教室　10月10日(土)

今年はJRで、備後西城駅→備後落合駅→出雲横田駅まで行きました。車窓からの風景・トンネル・スイッチバックなどのシャッターチャンスをねらっていました。子ども達の個性がつまった写真がたくさん撮れてフォトコンテストへ応募しました。「楽しかった」「キレイにとれてうれしい」「たくさん写真がとれた」と参加者からの声がありました。

講師の藤川さん、安原さん、ボランティアガイドの永橋さんありがとうございました。



備後落合駅で永橋さんの説明を聞く子ども達



参加者(左から)藤川さん、樋口君、安原さん、仁井ちなさん、仁井彩さん

彩り艶やか　展示期間10月8日(木)～11月9日(月)

トルソーに飾られた赤い洋服。立ち止まり見とれる方達。西城自治振興センターのロビーが、さながら洋服店のような雰囲気になりました。この秋に展示された「さをリ織り展」です。



鮮やかな色の財布など小物

作品制作などの活動は庄原市西城しあわせ館でされています。

10月23日(金)西城自治振興センターで開催された「モルック庄原・西城大会」で財布などの作品の販売をされました。



作品を展示された「西城さをリしあわせ工房」のみなさん

楽しいハロウィーン　10月29日(木)

今年も元気でかわいい小さなおばけ達が西城自治振興センターに来てくれました。

お菓子をあげるといたずらをしないで西城保育所へ帰って行きました。



お菓子で笑顔の園児たち

元気に火の用心！　10月20日(火)



消防署・消防団と火の用心！

西城保育所の園児達が拍子木を「カチカチ」と打ち鳴らし「火の用心」のかけ声で町内の防火パレードです。秋の全国火災予防運動の一環として実施されました。

西城自治振興区だより　2026.11.20(金)　Vol.173

西城まちづくり便

〒729-5722　広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 西城町　自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♫

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します

西城まちづくり便

ヒバゴンの町西城

＊こちらからお入りください

庄原市議会議員と語る会　10月9日(金)　25名参加　テーマ「人口減少問題」

今年度の市民と語る会は議員への意見や要望だけではなく、西城自治振興区への要望もありました。

「人口減少問題」をテーマにするには幅が広いため、「小学校の統合について」と「多世代の集いの場としての旧西城保育所の公園化事業について」の二つを事務局から提案しました。主な意見を紹介します。



市議会議員と語る会は西城自治振興センター大集会室で開催

◇小学校は地域作りの1番地である。庄原市では、小学校に複式学級が発生すると統合協議の対象となる基準がある。複式学級でも良いではないか。是非とも西城小学校は残してほしい。

◇公園化事業について子どもが少ないのに公園を作るのはしんどいのでは。公園を作るのなら、人が集まるような、子どもが集まるようなイベントを考えてほしい。



(左から)前田議員、桂藤議員、徳永議員、堀井議員、田村区長

◇Iターンの仲間がいない。山内や口和は色々な移住者がいて色々な繋がりがあるが西城にはない。上手くいっている地区は自治振興区が核になり住民が関わって活動している。色々な世代の人が無理なく西城のために関われる、そういう機会を自治振興区中心に組み立ててほしい。

◇堀井議員から:色々な人が色々なアイディアがある。取りまとめて行政と繋ぐ、そういう役目の方が必要なのだと。それが議員の仕事だと思う。

まずは情報伝達訓練　10月28日(水)　協議体　第96回　西城暮らしと安心の会

いつ、どこで起こるかわからない**災害**。平成22年7月16日に発生した庄原ゲリラ豪雨災害。この日を忘れず、防災について西城町のみんなで考える日にするため「西城町防災の日」を7月16日に決めました。周知方法は表に防災の日の内容、裏に災害時の確認内容を自身で記載するチラシを作成し全戸配布します。

災害発生時に避難所が開設されます。その際、西城支所から自治振興区へ、それから自治会に避難所開設の連絡をすることが決まっています。別の順路で西城支所から民生児童委員へ、それから要支援者に連絡します。まずは、この訓練を行う事で話がまとまりました。次回は日程等を協議していきます。



配布予定のチラシ

西城自治振興区の動き

第3回　役員会　10月30日(金)　【協議事項】

1 自治振興区活動促進補助金交付決定　令和8年度事業旧庄原市西城保育所園庭公園化事業としての遊具の購入で配備は来年3月上旬の予定
2　西城町自治振興区連絡協議会　講演会の周知
3　吉野誠展の周知
4　落語を楽しむ会の周知
5　人権学習講演会の実施について
6　「栗田小学校を守った人」横山氏を招いての研修会
7 ドローンサッカー体験会の実施予定について
(1)　第40回　峰田地区ふるさと祭　11月8日(日)
(2)　フレ！フレ！フレイル予防デー！11月17日(火)(高小学校体育館)
8　各自治会の総会の4月中開催に関するお願い
9　私たちのまちの地域公共交通はどうなるの･･･「住民説明会開催」西城自治振興センターにて
(1)11月12日(木)18:30～　(2)12月11日(金)18:30～
10 「多機能ホームひより」(社会福祉法人　西城福祉会)について、デイサービス等に関する施設の情報提供

第3回　総務広報部会　役員会が終了後開催



総務広報部会

西城暮らしと安心の会で決まった、要支援者の避難支援・情報伝達訓練について協議しました。

平成30年に西城地域で発生した豪雨により避難所が開設された際、大勢の人が集まり、避難所で過ごせる状況ではなく、避難しても逃げるところがない。避難所まで橋を渡らないといけないため、かえって危険との意見がありました。しかし、自分達の命は自分達で守るため、訓練をやってみようとの意見に全体がまとまりました。12月中に訓練を行う予定です。また、防災グッズの購入の提案を行いました。

平子自治会で令和5年から作成されている防災計画が近々策定されるので内容を共有していきます。また、みこと自治会では全常会に防災士を配置できた事の報告がありました。

災害時でもおいしいご飯

10月7日（水）

集まりの場世話人交流会で「災害時のおいしいごはんの作り方」と題した研修会が開催されました。調理はハサミや手でちぎったり、洗い物は少なくしたりする方法を学びました。

消防署から防災気象情報の変更点や地震の備えや発生時にどう行動するかなどの話しがありました。

「調理を少しアレンジをすればいいと思った」「近隣の常会で何ができるか勉強したい」などの感想がありました。



講師：庄原市保健医療課
管理栄養士　小坂真菜美さん



美味しいごはんの実習体験



耐熱ポリ袋で湯せん調理

近場でも楽しい遠足

10月11日（日）

大屋サロンでは年1回遠足を実施していますが、最近では、バス借上げ料が非常に高額となり、遠方には行かれず、10月11日(日)に近場の丘陵公園としました。夏場の気温が高すぎて、秋の花もほとんど終わっていました。そこで園内を一周する「おもいやり号」に全員乗車し、普段見られないところも回り喜んでおられました。

その後、中の広場でお弁当を食べ、2時間の自由時間では、皆さん本場の石見神楽を鑑賞されて大変感動されておられました。

なによりも天候にめぐまれたのが良かったと思います。

今櫛会　会長　岡田隆博　談



備北丘陵公園で遠足を楽しむ大屋サロンの皆さん

好評につき三回目の上演

10月14日（水）

八鳥ふれあいサロンで「地域で暮らすための経済学」と題した寸劇が披露されました。老後の資金や住み替えなど、経済についての心配事を解決してくれるヒントや提案があり、笑いあり、涙ありで学べるお芝居です。好評につき今回で3回目の上演でした。

当日のサロンの日程は「フレイル予防講座」。昼食は男性料理教室のカレーとサラダ。「寸劇」。その後は「お楽しみビンゴゲーム」と盛りだくさんでした。20名を超える参加で、楽しい1日を過ごされました。



「劇団せわぁないの」磨きの掛かった演技

西城自治振興区グラウンド・ゴルフ大会

10月19日（月）

西城自治振興区第3回のグラウンド・ゴルフ大会の開催です。第1回は雨天によりくじ引きでの表彰式でした。競技は昨年に続き2回目となります。雨の予報で中止かと不安でしたが、参加されたみなさんの笑い声で雨雲は遠ざかり、52名の参加で無事に開催しました。

この大会は自治会の垣根を越えての交流を目的としています。

今回も前年に引き続き、森田さんと吉野さんにコース設定をお願いしました。ありがとうございました。

西城薬局様から参加者にお茶を寄贈いただきました。ありがとうございました。

順位	氏　名	スコア	自治会名
1	荒木　富子	37	栗自治会
2	伊達　初恵	38	五町自治会
3	伊達　正信	39	中野1区自治会
4	吉野　秀和	39	五日市公盛会
5	井上　秀子	40	五町自治会
6	兼藤　繁弘	40	平子自治会
7	田口　勇次	40	今櫛会
8	笹田　義明	41	大佐村自治会
9	平田　祥栄	41	大佐村自治会
10	岡田　由則	41	入江自治会

10位までの入賞者



開会式で整列された参加者



和やかに競技



表彰される1位の荒木さん

庄原市自治振興区連合会　グラウンド・ゴルフ大会

11月6日（金）

庄原市高野スポーツ広場で開催された庄原市自治振興区連合会グラウンド・ゴルフ大会は、連合会で親睦を図る唯一のイベントです。西城自治振興区から6名の参加で腕を競いました。今回は18自治振興区108名の参加です。

プレーするグループは異なる振興区で構成されます。競技が始まると自然に打ち解け交流の場となりました。

団体賞の優勝は比和自治振興区。2位敷信自治振興区。3位は帝釈自治振興区でした。西城から個人賞（1位～5位）はありませんでした。



前年度優勝の帝釈からトロフィーの返還



ニアピン賞などの大根を手にした平田さん



（左から）田村区長、笹田さん、平田さん、田口さん、荒木さん、吉野さん、伊達さん

小中学校の統廃合について

―学校適正規模・適正配置の基本的な考え方を巡って

校長先生から、来年度は西城小は、3・4年生、中学年が複式学級になるのだと、そして広報しょうばら8月号で、現在と令和14年度までの児童数の見込み推計が載っているのをみました。9月議会での議員質問と教育長答弁から、その様子が読めますので、紹介をします。

西城自治振興区　区長　田村富夫

（議員の質問）

学校教育の問題です。2018年1月策定の庄原市学校適正配置基本計画の中の第3項目に、学校適正規模・適正配置の方針の基本的な考え方が示されていますが、また私は少子化が想定以上に進む中で、この基本的な考え方を見直すべきではないかというふうに通告いたしました。

その対象校として、複式学級や少人数学級の対象解消を優先するということは見直さないと、これ以上この方針通りにいくと、本当に学校はもうなくなってしまうのではないかと思いますので、複式学級も含めて多様な学校の存続を目指し、これ以上の再配置は思いとどまる決断ができないのか。またより良い教育環境とは何なのか、多様な観点から再検討し、庄原らしい学校教育を創造することはできないのか、教育長のお考えを伺いたいと思います。

（教育長の答弁）

ご質問にお答えします。平成29年度に策定し、令和3年度に見直しをした庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画は、少子化に伴う小中学校の小規模化に対応し、将来にわたって教育水準の維持・向上を図り、子どもたちの生き抜く力を育てることができる、より良い教育環境づくりを目的として策定をしています。

この基本計画の中で適正規模のことに触れ、1学級あたりの児童生徒を20人以上、さらに1学年の学級数は2学級以上としながら、本市の実情を勘案し、1学年1学級の規模もやむを得ないものとした上で、複式学級や少人数学級の解消を優先するものとしています。また、小学校の場合は旧市町の区域内の学校において再編すること、中学校の場合は旧市町の区域を超えた学校の再編をすることが前提となっています。

基本計画の策定から10年が経過し、学校教育を取り巻く情勢も大きく変化していることや、本市の少子化、学校の小規模化が急速に進んできている実態もあり、子どもたちの学びをより充実させていく学校について検討することは、急務で避けて通れない状況となっています。

そこで、本年度、庄原市立学校の在り方を考える会を設置し、子どもたちのことを中心に考え、検討を始めています。検討に当たっては、より良い教育環境をつくるために、発達段階に応じて子どもたちにつけるべき力を着実につけることができるのか、それは，確かな成長につながるのかなどを基本に考え、子どもたちに求められる資質能力を育成できる学校、子どもたちが学びたい、保護者が通わせたい学校とは、改めてどのような学校なのかどうかを描きながら協議を行っています。

今後も、庄原市立学校の在り方を考える会で意見交換を行うとともに、関係団体へのヒアリング、地域での説明会などを通じて、広く意見を聞きながら、基本的な考え方をまとめていく予定にしています。

学校ごとの児童生徒数の推計

（単位：人）

●小学校

学校名	令和8年度（5月1日現在） 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	令和14年度【見込み】 1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	増　減
庄　原	39	47	52	47	61	43	289	30	19	29	34	26	35	173	▲ 116
永　末	10	12	16	16	20	15	89	4	7	8	7	6	9	41	▲ 48
高	3	8	11	4	9	7	42	2	3	1	7	1	3	17	▲ 25
板　橋	22	24	23	21	22	27	139	14	29	22	22	22	19	128	▲ 11
東	16	29	22	23	25	32	147	11	21	18	25	26	28	129	▲ 18
山　内	8	12	12	11	10	7	60	7	5	6	2	6	8	34	▲ 26
西　城	7	8	7	10	19	8	59	7	7	4	11	9	6	44	▲ 15
小奴可	4	3	6	4	4	3	24	0	2	0	1	3	2	8	▲ 16
東　城	16	26	30	34	22	34	162	15	13	21	20	23	23	115	▲ 47
口　和	7	8	15	9	10	11	60	6	6	5	4	6	9	36	▲ 24
高　野	7	8	12	8	8	11	54	3	3	3	2	6	6	23	▲ 31
比　和	3	5	3	5	5	4	25	3	2	0	2	4	2	13	▲ 12
総　領	8	6	5	7	10	2	38	4	2	5	3	5	6	25	▲ 13
計	150	196	214	199	225	204	1,188	106	119	122	140	143	156	786	▲ 402

※令和8年5月1日現在の住民基本台帳に基づき、令和14・20年度の児童生徒数を推計
※児童生徒数は、通常学級および特別支援学級に在籍している合計の人数
※小学校の児童数上の複式学級は網掛けにし、学年の仕切り線も削除

【広報しょうばら2026年8月号(NO.257)より】